



【特集】 国と言葉を 越えたつながり —国際姉妹都市交流—

●シェパートン市民の憩いの公園「ビクトリアパークレイク」。ボール遊びをする子どもや自転車に乗って楽しむ人たちで賑わっていた



日本の20倍以上の国土をもつオーストラリア。この南半球の大陸の小さなまち、グレートシェパートン市との姉妹都市交流は36年前に始まりました。互いに合併を経験し、市の名前が変わっても両市の絆は変わりません。今回は、8年ぶりに行った公式訪問の様子をお伝えします。

■問い合わせ 本庁地域づくり推進課市民活動係（江刺総合支所・内線323）

グレートシェパートン市ってどんなまち？

- 名称＝オーストラリア連邦ビクトリア州グレートシェパートン市
- 人口＝約63,000人
- 面積＝2,421.9km²
- 首長＝デニス・パターソン市長
- 特徴＝人口の13%が移民
主産業は酪農や果樹栽培などの農業
オーストラリアの食糧庫と呼ばれている

27年	21年	19年	平成6年	昭和54年
本市の公式訪問団がグレートシェパートン市を6度目の訪問	奥州市中学生海外派遣事業を開始	市公式訪問団がグレートシェパートン市を初訪問。あらためて姉妹都市交流計画を取り交し、4年ごとの公式訪問団の派遣や中学生派遣事業の相互交流などを確認	近隣8自治体との合併によりグレートシェパートン市誕生	椎名素夫氏の仲介により、旧江刺市と旧シェパートン市が姉妹都市提携を結ぶ。以後、断続的に公式訪問団の相互受け入れを実施

グレートシェパートン市との交流年表

〈今月の表紙〉



衣川かぼちゃを楽しむ会(木村高志会長)主催のハロウィン・ランタン作り交流会が10月21日、衣川区のあゆみ園で行われました。園児たちが5月に植えた苗は育ち、ハロウィン用カボチャとなって園に到着。同会会員の指導を受けながら、園児達はカボチャでお化けランタンを作りました。カボチャは園児でも簡単にくり抜くことができ、個性豊かな表情のお化けが園庭に並びました。

木村会長は「子どもたちは、自分で植えた意識もあり楽しんで取り組んでくれた。こんなにも上手に下絵を描き、ランタンを仕上げるとは」と感心していました。

ほのかな酒粕の香りが食欲をそそる「酒粕のおづけ（鮭の粕汁）。佐藤愛子さんはことし、この料理で「岩手県食の匠」の認定を受けた。

来客には必ずと言っていいほど手料理を振る舞いもてなす母の姿を見て育ち、そんな母の料理が大好きだった。そのため、忙しい両親を手伝い小学3年生から始めた料理は苦にならず、楽しんでやれた。結婚後、研究職だった夫の転勤で栃木や新潟、大分などで暮らし、各地の食材や郷土料理を学んだ愛子さん。奥州

市の夫の実家に引っ越してきたのは37歳のときだった。地元の寄り合いで手料理を振る舞ったところ大好評。さらに、旧前沢町観光協会が主催した「前沢町特産品コンクール」では考案したレシピが金賞を受賞した。

「手料理は人を和ませる。食べたことがない創作料理を味わってもらいたい」と語る愛子さん。県食の匠の認定を受け「何でも買える時代だけれど、手作りの良さを伝えていきたい」と、食の伝承への決意を新たに笑顔を見せる。



心も体も温まる「酒粕のおづけ」はこれからの季節にぴったり

佐藤愛子さん（66歳）
前沢区白山字水ノ口

手作りの料理で 人と人との架け橋に



さと・あいこ◎昭和23年、秋田県秋田市生まれ。夫と2人で農業を営む傍ら、「アテルイの里伝統食リーダー」として活動。地域住民や子育てグループなどに創作料理や郷土料理を伝承している

CONTENTS

- キラリ輝く奥州人
- 【特集】国と言葉を越えたつながり
- 希望者に個人番号カードを無料で交付します
- 平成28年度 認定こども園・幼稚園・保育所の園児を募集！
- おもっちニュースレター
- 秋の「叙勲・褒章」「危険業務従事者叙勲」受賞者の紹介
水沢南地区防犯協会に内閣総理大臣表彰
- 11月はねんきん月間
- 2015秋 マラソン大会・産業まつり グラフ
- まちを元気にするイベントに参加してみませんか？
姉妹都市 掛川だより
- 広報紙で振り返る奥州市の10年
- ILC希望のひかり
- 市政ズームイン
- まちの話題
- 夢トーク
青春讃歌
- 雨の日も晴れの日も
市長コラム「おうしゅう羅針盤」
- 我が家のアイドル
子ども喜ぶ人気メニュー
- 子そだて広場
子そだて行事予定
- 情報あらかると
- 奥州遺産

地域の個性が
ひかり輝く
自治と協働のまち
奥州市